

木と紙で よく飛ぶ「サイクロンD」を作ろう

工作の狙いは、最先端技術に囲まれた便利な社会の中で、子どもたちが自分の能力を発見する機会の提供です。空飛ぶおもちゃで「ドローン」とサイクロンD」の違いは何か 考える機会を与えたいと思います。 私が小さいころ空にあこがれ、紙飛行機作りやライトプレーン作りして楽しみました。今の子どもはラジコンのドローン遊びが主流です。より高く強く正確に飛ばすにはどのような機体にすればいいか等工夫することが無いと思います。

紙と木でよく飛ぶおもちゃを作ろう そして「どうしたらよく飛ぶか考え工夫しよう」

「よく飛ぶサイクロンD」とは
DとはドローンのDと円盤 Disk のDを想起させる名前です。

※サイクロンは台風と違い右回り

工作の材料費

ランチャーの材料(右写真)

Disk の紙(美濃和紙の厚紙使用)

工作の手順

オリエンテーション ドローンと作品のデモを通して
「手作りと工夫」の大切さを伝える。

・・・・・・・・・・10分

ランチャーの作成 部品のやすりがけ 回転部の注油
ボンドで接着しゴムで固定

・・・・・・・・・・20分

Disk の作成 厚紙と型紙 鉛筆、定規、ハサミで製作

ぼんちで穴あけ 自分のものとわかるよう色塗りしても 良い

各自持ち物 ハサミ 定規15～16cm 鉛筆

・・・・・・・・・・30分

飛行試験 会場の関係で自由というわけにはいかないが工夫する。

的にめがけて飛ばすとか 競技的にしたい。

材料費 1セット350円程度必要です。

持参品は 鉛筆、定規20cm程度の短いもの、ハサミ ディスクに色塗りする場合は鉛筆やクレヨン

